

下水道を核とした市民科学育成プロジェクト意見交換会（第1回）

議事次第

日時：平成27年9月14日(月)

10:30～12:00

場所：中央合同庁舎2号館 低層棟1階

共用会議室5

- 1 開会
- 2 流域管理官挨拶
- 3 本年度の方向性について（事務局案）の説明
- 4 意見交換
 - (1) 本年度の方向性について
 - (2) プロジェクトの水平展開について
 - (3) 調査データの活用方策について
- 5 閉会

【配布資料一覧】

資料1 委員名簿

資料2 本年度の方向性について（事務局案）

下水道を核とした市民科学育成プロジェクト意見交換会

委員名簿

(五十音順)
(敬称略)

- 座 長 小 堀 洋 美 (東京都市大学特別教授)
- 委 員 奥 野 修 平 (横浜市環境創造局政策調整部政策課)
- 〃 栗 原 秀 人 (G K P企画運営副委員長)
- 〃 亀 山 豊 ((一社)生物多様性アカデミー主任研究員)
- 〃 佐 山 公 一 (みずとみどり研究会)
- 〃 長 岡 裕 (東京都市大学工学部教授) ご欠席
- 〃 中 尾 浩 子 (メタウォーター株式会社)
- 〃 咸 泳 植 (東京都市大学環境学部准教授)
- 特別委員 加 藤 裕 之 (国土交通省水管理国土保全局下水道部流域管理官)
- 事 務 局 国土交通省水管理国土保全局下水道部流域管理官付

本年度の方向性について(事務局案)

下水道を核とした市民科学育成プロジェクト
意見交換会事務局

目次

1. 昨年度の検討概要

2. 今年度の方向性

2.1 市民との協働による下水道関連調査の内容検討
(地域ワーキングの開催)

2.2 プロジェクトの水平展開、データ活用のための検討
(意見交換会の開催・アンケートの実施)

1. 昨年度の検討概要

平成26年度は本プロジェクトを立ち上げ、3回の懇話会を通じて、今後のプロジェクトの提案につながる様々なアイデアが上げられた。また、試行的な市民科学の実践として、市民調査（パックテストによる水質調査）を行った。

平成26年度 懇話会の実施概要

回	時期、場所等	内 容
第1回	9月18日(木) 13:30～16:00 国際航業会議室	・市民科学育成プロジェクトの立ち上げ ・下水道と川、市民とのつながりに関する討論
第2回	10月25日(土) 13:00～16:30 いたち川(市民調査) 神奈川県立地球市民かな がわプラザ	・プロジェクトモデルの実践 ・いたち川流域で市民調査（パックテストの体験） ・河川や下水道に関する意見交換 課題：下水道の課題解決に向けて市民が継続実施できる調査の検討
第3回	1月10日(土) 13:00～16:00 帆船日本丸記念財団訓練 センター教室	・テーブル討論 下水道を核とした参加型取組みに必要なこと 市民科学を持続していくためのしくみづくり

下水道を核とした市民科学育成のプロトタイプ(イメージ)



2. 今年度の方向性

今年度は、継続実施できる下水道関連調査について、地域ワーキングを開催し、地元NPOと意見交換をしながら共に検討し、次年度調査計画を立案する。また、本プロジェクトを他地域へ水平展開するための方策、調査結果の活用を推進する方策について、意見交換会やアンケート調査を通して検討し、次年度以降の体制や取組み内容を具体化する。

① 市民との協働による下水道関連調査の内容検討

地域ワーキングの開催(3回)

- ・ 下水道の問題や課題を共有、市民調査内容を検討

② 水平展開するための検討

意見交換会の開催(2回)

- ・ 情報集約機関(プラットフォーム)の立ち上げに向けた検討
- ・ 次年度以降のプラットフォームの取組み内容について

③ データ活用方法、活用を推進する方策の検討

意見交換会の開催(2回)

- ・ 各主体による市民調査結果の活用方法
- ・ 次年度調査結果の活用方策について

アンケート調査の実施

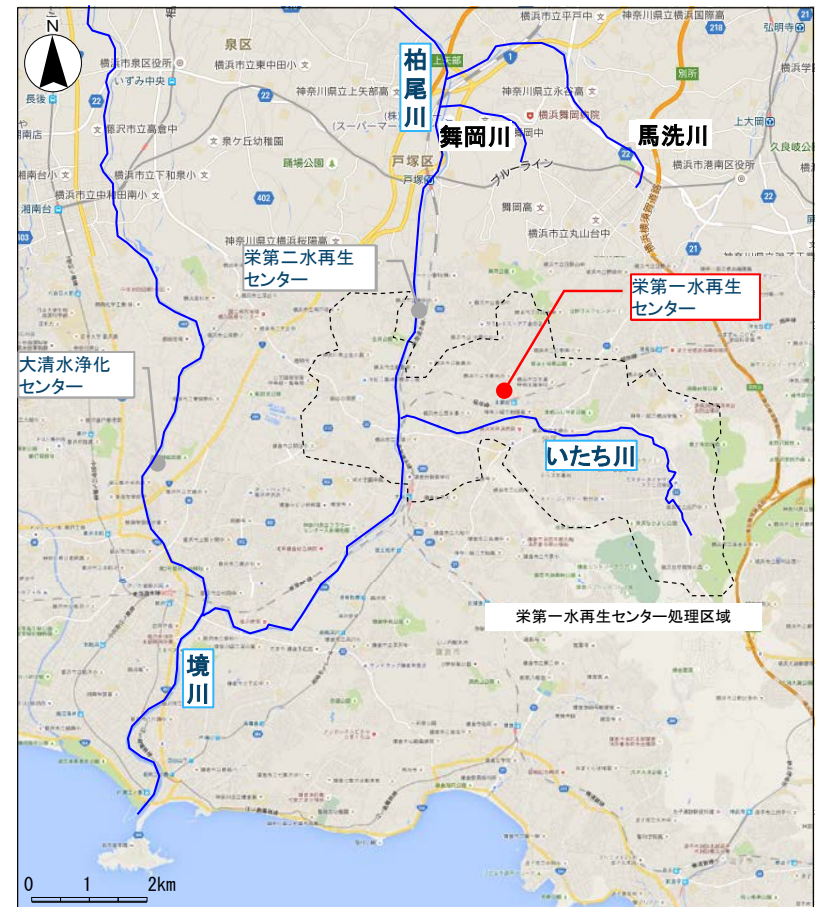
- ・ 市民調査データに関する意識、要望、ニーズの把握

2-1 市民との協働による下水道関連調査の内容検討 (地域ワーキングの開催) **案1: 支川(いたち川など)**

昨年度市民調査を行った「いたち川」、「舞岡川」などの柏尾川に流入する支川をフィールドとした調査計画を立案する。

地域ワーキングでの検討内容(いたち川の場合)

開催予定	内容
第1回 (10月)	・いたち川の問題、課題の共有 (「いたち川の何が良い?」、「どうしたい?」、「より良くするために必要なことは?」)
第2回 (11月)	・市民との協働による下水道関連調査の内容検討 (第1回WG意見を踏まえ検討した「調査計画案」について、合意形成を図る)
第3回 (1月)	・次年度の調査計画の立案 (第2回意見交換会にて発表)
メンバー	企業: GKP企画運営(栗原氏) 大学: 東京都市大学(長岡教授、咸准教授) 自治体: 横浜市(奥野氏) 地元NPO等: いたち川愛護会、 学生(横浜市立舞岡中科学部を候補)



いたち川、下水処理場の位置

2-1 市民との協働による下水道関連調査の内容検討 (地域ワーキングの開催) **案2: 二級河川(柏尾川など)**

昨年度東京都市大学で調査を行った「柏尾川」や「境川」などの二級河川をフィールドとした調査計画を立案する。

地域ワーキングでの検討内容(柏尾川の場合)

開催予定	内 容
第1回 (10月)	・柏尾川の問題、課題の共有 (「柏尾川の何が良い?」、「どうしたい?」、 「より良くするために必要なことは?」)
第2回 (11月)	・市民との協働による下水道関連調査 の内容検討 (第1回WG意見を踏まえ検討した「調査計画 案」について、合意形成を図る)
第3回 (1月)	・次年度の調査計画の立案 (第2回意見交換会にて発表)
メンバー	企業: GKP企画運営(栗原氏) 大学: 東京都市大学(長岡教授、咸准教授) 自治体: 横浜市(奥野氏) 地元NPO等: 川で活動しているNPO、 学生(横浜市立舞岡中科学部を候補)



柏尾川、下水処理場の位置

2-1 市民との協働による下水道関連調査の内容検討 (地域ワーキングの開催) **案3: 一級河川(鶴見川)**

一級河川の「鶴見川」をフィールドとした調査計画を立案する。

地域ワーキングでの検討内容(鶴見川上流部の場合)

開催予定	内 容
第1回 (10月)	・鶴見川の問題、課題の共有 (「鶴見川の何が良い?」、「どうしたい?」、 「より良くするために必要なことは?」)
第2回 (11月)	・市民との協働による下水道関連調査 の内容検討 (第1回WG意見を踏まえ検討した「調査計画 案」について、合意形成を図る)
第3回 (1月)	・次年度の調査計画の立案 (第2回意見交換会にて発表)
メンバー	企業: GKP企画運営(栗原氏) 大学: 東京都市大学(長岡教授、咸准教授) 自治体: 横浜市(奥野氏) 地元NPO等: 川で活動しているNPO、 学生(周辺中学校の科学部など)



鶴見川、下水処理場の位置

2-2 プロジェクトの水平展開、データ活用のための検討 (意見交換会の開催・アンケートの実施)

本プロジェクトを水平展開していくために、情報共有するための体制づくりとして、プラットフォームの立ち上げに向けた検討を行う。

また、調査データの活用を推進するための方策について検討を行う。下水道関連企業や自治体等研究機関へのアンケート調査も併せて行う。

意見交換会での検討内容(案)

開催予定	内 容
第1回 (9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム組織に求められる機能、各主体の役割、運営方法 ・各主体による市民調査結果の活用方法(課題の抽出、データの収集・蓄積・解析・共有化・見える化に必要な要件)
第2回 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降のプラットフォームの取組み内容について ・次年度調査結果の活用方策について

データ活用に関するアンケート調査(案)

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・市民調査データに対する意識、要望、ニーズを把握する
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査データの利用状況、利用部分、利用効果、活用上の障害、問題 ・下水道関連の市民調査データの活用上の希望、要件、活用方法
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道関連企業(日本下水道施設業協会、共立科学研究所ほか) ・自治体等の研究機関(横浜市環境科学研究所)
依頼方法	<ul style="list-style-type: none"> ・メール等
調査実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・9月～10月(2週間程度で回収)